

*The Japanese mountains*



pic. 39 信濃大町からの蓮華岳 F 10号 2012

2月、長野県大町市でロブチン初登頂の報告を行った翌日、一日降り続いた雪が上がった。

帰りの汽車を待つ間に駅前の通りに出ると立派な蓮華岳が顔を出した。

*The Japanese mountains*



pic. 40 雪融けのせせらぎ F 20号 2003

3月、まだ雪深い開田高原。雪解けの末川のせせらぎがきらきら光っている。朝の光を浴びた継子岳から摩利支天、剣が峰へと続く御岳が大きい。

*The Japanese mountains*



pic. 41 德本峠からの穂高連峰 P 20 号 2005

5月初め、季節はずれの冬型気圧配置で上高地では1日中冷たい雨が降った。翌日未明に小梨平を出発し徳本峠に登ってみると、予想したとおり上の方は雪化粧された。雲が切れて、白くなった穂高連峰が姿を現した。

*The Japanese mountains*



pic. 42 上高地新緑 F 20号 2001

5月下旬、よく晴れた日の午後の上高地は底抜けに明るい。梓  
川の河畔は新緑が美しく、その背後の穂高は残雪がまぶしい。

*The Japanese mountains*

pic. 43 陽光あふれるフラワーロード  
F 4 号 2009

晴れた5月の昼下がり。神戸のメインストリートのフラワーロードを歩くと、摩耶山から市章山あたりの新緑の山がビルの間に見える。



*The Japanese mountains*



pic. 44 尾瀬の水芭蕉 F 6 号 2014

6月、尾瀬ヶ原からは至仏山が実に大きく見える。特に6月の水芭蕉の頃は残雪のまだら模様が素晴らしい。

*The Japanese mountains*



pic. 45 新緑の奥入瀬 F8号 2006

6月、十和田湖から流れ出る奥入瀬渓谷の染まるような新緑に咲くヤシオツツジが映える。

*The Japanese mountains*



pic. 46 槍沢の夏 F 10 号 2010

7月、アルプスに行く誰もが一度は通る道が、上高地から槍沢に沿って槍ヶ岳に至る道だ。槍沢ヒュッテを過ぎて、大曲あたりから道は急になり苦しいが、U字谷の奥に槍ヶ岳の勇姿が見えると、夏山気分が満点で元気が湧いてくる。

*The Japanese mountains*



pic. 47 油坂の頭から仰ぐ白山御前峰 F 10号 2011

8月、南竜ヶ馬場から白山南部縦走路を別山方面にたどると、油坂の頭への登りが始まる。樹林帯を抜けると、ハクサンフウロやミヤマシウドが茂る斜面に出た。振り返ると、夏雲が湧く空をバックに御前峰が高い。

*The Japanese mountains*



pic. 48 立山・浄土沢の秋 F 20号 2002

10月、一の越から雷鳥沢のテント場へ。浄土沢付近は草紅葉、ナナ  
カマドなどが色づき、一年中でもっとも美しい時期を迎えている。

*The Japanese mountains*



pic. 49 白馬三山の秋 F 10号 2020

10月、白馬ハイランドホテルからは、白馬村の背後に白馬三山が良く見える。白馬の秋は山麓の紅葉の色が絶妙で何とも言えない美しさである。手前の八方尾根スキー場は雪を待っている。

*The Japanese mountains*



pic.50 黎明の剣岳 P 20号 2003

11月下旬、立山から縦走して別山まできたとき大雪に見舞われ、厳冬期へ一気に季節が移り変った。厳しく冷え込んだ夜明け前に別山のテントを出発し剣御前小屋へ向けて下る。正面に朝日を浴びた剣岳が招くようだ。

*The Japanese mountains*



pic. 51 冬富士・忍野 F 10号 2013

2012年12月1日 緒方俊治兄が富士山に逝った。富士吉田に近い忍野からの冬富士。遭難現場となった吉田大沢は正面に見える窪んだところである。いつも着ていたクーラカンリの時の黄色いヤッケと青いニットの帽子の姿で、忍野の河畔に緒方さんが立っている。